

JAMI 動機づけ面接技能評価 (MI skills coding) JAMI-coding ver.1.1

原井宏明 2013/11/08

緒言

実際にやっているところを見ている以外にはMIの技術を評価する方法はない。標準患者(プロの役者に患者役をさせること)とのやり取りでも技術の一端を見ることができるが、役者と本物の患者の振る舞いには違いがある。スポーツや楽器演奏において、コーチがするように、実際の場面を横で観察することが技術の習得に最も役立つ。その場で陪席することやビデオ録画も良いが、音声録音でも十分に役立つ。

録音することでクライアントのプライバシーを侵害する恐れがあると心配する声もある。品質保証の目的で会話を録音することはMI以外のさまざまな領域ではごく自然なことになっている。クライアントに予め録音の目的を知らせて、文書で同意をとることが必須になる。同意文書の中には誰が録音を聞くのか、いつどのようにして録音が廃棄されるのかを明記しなければならない。私たちが経験する限り、このような条件のもとで、ほとんどのクライアントは録音に協力してくれるし、サービス改善のための品質保証の努力の一環であることを認めてくれる。

MIにおいてもっとも広く使われ、信頼性・妥当性が確かめられている評価ツールがMotivational Interviewing Treatment Integrity (MITI) である (Hendrickson et al., 2004; Moyers, Martin, Manuel, Hendrickson, & Miller, 2005)。これはカウンセラーの反応のみを評価するものである。MITI はもともと Motivational Interviewing Skill Code (MISC; Moyers, Martin, Catley, Harris, & Ahluwalia, 2003)から派生した。MISCはカウンセラーとクライアントの両者を評価するものである。MITIは実践がMIに即しているかどうかを見るためには十分である。一方、MISCはクライアントの反応を研究するためにも有用である(たとえば、治療プロセスと治療成績の関連を知りたい場合など)。

MITIのなかで治療アウトカムとの関連がはっきりと認められている評価は次である。

1. 共感

正確な共感を示す能力はMIのスピリットの中の大きな要素を占め(Miller & Rollnick, 2013; Rollnick & Miller, 1995), 良い治療アウトカムと関連している (Miller, et al., 1980; Moyers & Miller, 2012)。

2. MiA MI 一致反応

MIに一致したカウンセラーの反応が多ければ多いほど、クライアントのチェンジトークが増え、それが治療アウトカムの改善とつながることが分かっている (Glynn & Moyers, 2010; Moyers & Martin, 2006; Moyers et al., 2007; Moyers, Martin, Houck, Christopher, & Tonigan, 2009)。

3. MiNA MI 不一致反応

直面化などのMIに一致しない反応はクライアントのチェンジトークを減らし、”抵抗”を強め、それが治療アウトカムの悪化とつながっていることが分かっている(Miller,

Taylor, & West, 1980; Moyers & Miller, 2012; White & Miller, 2007)。

JAMI 動機づけ面接技能評価(略称 JAMI-coding)は MITI3.0 日本語版を簡略化し、上記の 1,2,3 のみを捉えるようにしたものである。

手順

事前準備

最初に全体を録音、録画する。評価者は事前に MITI3.0 日本語版に目を通しておく必要がある。評価者自体は必ずしも高度な MI を実践できる必要はなく、基本的なことが行えれば良いが、良い MI のサンプルはどのようなものか、熟達した臨床家やトレーナーならどのようにするかが分かっていなければならない。

全体評価 共感

共感

低い				高い
1	2	3	4	5
臨床家はクライアントの世界観に興味を全く示さない。クライアントの視点に対してごくわずかな注意を払うのみである。	臨床家はクライアントの視点を探ろうと時たま努力する。臨床家のクライアントに対する理解は不正確なことがあり、クライアントが真に意味することからは遠ざかってしまう。	臨床家はクライアントの視点を理解しようと積極的に努力し、それと成功しているところもある。	臨床家がクライアントの世界観を正確に理解していることを示す証拠がある。クライアントの視点を理解するための努力を積極的に繰り返し行う。理解は、明示された内容のレベルにとどまっている。	明示的に語られた事柄以外、すなわちクライアントが語らなかったが実際には意味していたことのような奥深いレベルまで、臨床家がクライアントの視点を理解していることを示す証拠がある。

この尺度は治療者がクライアントの視点や気持ちを理解するまたはとらえようと努力する程度を測るものである。文字どおり、治療者がどれだけクライアントが奥深くで何を感じ考えているかについて“試掘”しようとするかを示す。共感とは暖かさ、受容、率直さやクライアントに対する弁護や擁護と混同してはいけない；これらはここで言う“共感”とは独立している。

聞き返しは共感の重要な部分である、聞き返しがゼロであれば共感もゼロとしても良い。しかし、単純に聞き返しが多だけで、共感が高いとはいえない。聞き返しを通じて治療者がクライアントの視点を理解しようし、またその理解をクライアントに伝えようとしているのか、そのような努力を払っているかを評価して欲しい。

低い評価

共感の低い治療者はクライアントの視点や経験に無関心であったり、積極的に否定したり

却下したりする。彼らは事実の情報を探ったり課題を追求するかもしれないが、クライアントの視点を理解するという唯一の目的のためというよりはむしろ、彼ら自身の観点に合わせてケースを形作るためにそうする。複雑な出来事や感情の深い理解を得るための努力はほとんどなく、質問は浅薄さやいら立ちを反映しているかれらはクライアントの視点に敵意を表し、また否定的結果についてクライアントを直接的に非難するかもしれない。

高い評価

共感の高い治療者はセッションをクライアントについて学ぶ機会としてとらえる。彼らには好奇心がある。彼らはとくに目標行動に関するクライアントの意見、考えについて探ることに時間を費やす。共感クライアントが話していることを理解するのに積極的な興味を治療者が見せる時に明らかである。それはまた治療者がクライアントの複雑な話や発言を正確に追ったり理解したりする時や明瞭さを得るためにやさしく探る時にも明らかとなりえる。

言語アンカーポイント

1. 治療者はクライアントの世界観に興味を示さない。クライアントの視点にほとんどまたは全く注意を払わない

例:

- ・ 情報を求める質問だけする（しばしば隠れた意図を持って）
- ・ クライアントの視点を理解しようと試みることなく事実の情報のみ探る

2. 治療者はクライアントの視点を探る散発的な努力をする 治療者の理解は不正確またはクライアントの本当の意味から逸脱しているかもしれない

例:

- ・ 治療者は聞き返すがクライアントの言ったことを間違っ解釈する
- ・ クライアントを理解しようとする治療者の努力が上っ面で終わっている。

3. 治療者はクライアントの視点を理解しようと積極的に試み中程度成功する

例:

- ・ 治療者はクライアントに平均的な共感を示す
- ・ 治療者は少数の正確な聞き返しを行うが、クライアントの言いたいことを逃すかもしれない
- ・ 治療者はセッションの間中ずっと、クライアントの意味するところをとらえようと試みるが、中程度の成功にとどまる。

4. 治療者はクライアントの世界観の正確な理解の証拠を示す クライアントの視点を理解しようとする積極的で反復的な努力を行う 理解は大部分明らかに表れた内容に限られる

例:

- ・ 治療者はクライアントの視点や状況への興味を伝える
- ・ 治療者はクライアントが言ったことに正確な聞き返しを行う

- ・ 治療者はクライアントの視点の理解を効果的に伝える
5. 治療者はクライアントの視点の深い理解の証拠を示す, 明白に言明されたことだけでなくクライアントが意味しているが言わなかったことについても

例:

- ・ 治療者はクライアントがセッション中に言ったことを超えたクライアントの理解を効果的に伝える
- ・ クライアントの視点や状況に強い関心を示す
- ・ 治療者が自分自身をクライアントの立場に身を置いて, 理解しようとする。
- ・ しばしばクライアントに単に話に追従するのに必要な事柄以上に, より詳しく述べるよう励ます
- ・ 多くの正確で 複雑な聞き返しを使う

行動カウント

MiA MI 一致反応

このカテゴリーは動機づけ面接アプローチと一致する特定のカウンセラーの行動を捉えるのに使われる。評価者はたとえカウンセラーの発言が真に“適合”していなくとも, MI として良い例になっているのであれば, これらのカテゴリーの 1 つにコードしたいという誘惑にかられるかもしれない。そうではなく, 評価者は, MiA は決められた行動のみに付与するようにして, 先のような例は総合評価の全体的な評価の中で評価すべきである。MiA は下記のように分類される。

アドバイスや情報を与える前にクライアントに尋ねる

情報を提供する前にクライアントに許可を求めたり, クライアントが話題について何を既に知っているか, あるいは何を今までに聞かされてきたかを尋ねることである。クライアントの方から先に情報やアドバイスを求めて来たときもこれに含まれる。カウンセラーがクライアントに対してアドバイスを与えながら, それを無視しても良い, どうするかはクライアントの判断だと伝える場合も間接的にクライアントに許可を求めていることになる。

例

- ・ 大腸がんのリスクをどう減らすかということについて, 私の方で知っていることがあります。それについてあなたとの考えを聞きたいのですが? (MiA)
- ・ 妊娠中の飲酒について何かすでに聞いていますか? (MiA)
- ・ これはあなたには当てはまらないかもしれませんが, 私のクライアントの中に, 昼食後 1 時間に血糖値をチェックするのを思い出せるように腕時計のアラームをセットし, それで上手くいった人がいました。(MiA)

注意: アドバイスの前に許可が求められている時には, MiNA コードはそれに続くアドバイスにつけられない。そのやりとり全体は MiA とコードされる。

クライアントを是認する

なにかポジティブなことや称賛を言う。是認は, 目標行動に単純には関連しないような,

どんな分野においてもクライアントの長所、能力や努力について意見を言う形をとってもよい。

- ・ あなたは一度決心したらたいていやりとげる、そんな種類の人間です (MiA)
- ・ あなたにとっていい親であることが重要です、あなたの両親があなたにとってそ
- ・ うであったように (MiA)

クライアントのコントロール, 選択の自由, 自律, 決定能力の強調

- ・ ええ、あなたは正しいです。誰もあなたの飲酒を無理に止めさせることはできません (MiA)
- ・ あなたはここであなた自身のことを一番知っている人間です。あなたはこの治療
- ・ プランに何が盛り込まれるべきだと考えますか (MiA)
- ・ あなたが食べるのに選ぶ果物と野菜の数は全くあなた次第です (MiA)
- ・ あなたの言うことは一理あります (MiA)

クライアントをサポートする

思いやりや同情の発言である。

- ・ 駐車場のことや雨降りのことやらで、ここまでやってくるのは大変なことだったでしょう (MiA)
- ・ 飲酒をやめるのは非常に難しいことだと知っています (MiA)
- ・ なるほど、今のあなたにはもう抱えきれないほど、いろんなことが起こっているのですね (MiA)

注意：一致とみなされた行動には下位コードは割り当てられない。内容が何であれ、評価者はただそれらにコードを割り当てるだけである。

MiNA MI 不一致反応

このカテゴリーはカウンセラーの動機づけ面接のアプローチと一致しない行動を捉えるのに使われる。以下のようなカテゴリーがある。

許可なしのアドバイス

最初にクライアントの許可を得ずに提案、解決法や可能な行動を提供することによる言語はいつもとは限らないが、通常このような言葉を含む。

べきである、なぜ～しないのですか、考慮して、やってみて、～はどうですか、あなたは～できるかも、

もしカウンセラーがアドバイスする前に直接的にまたは間接的に、最初に許可を得ていればコードは違ってくる。

- ・ 友達に乗せてもらうよう試してはどうですか？ (MiNA)
- ・ 最初日に 回血糖をチェックすることが一番いいです。 (MiNA)
- ・ それはあなたが思うほど悪くないかもしれない。あなたが彼ら人々に機会を与えれば彼らはたいてい丁寧ですよ (MiNA)

論争する

クライアントに直接的にそして曖昧にではなく異議を唱え、論争し、訂正し、辱め、非難する、批判する、レッテルを貼る、教訓を与える、馬鹿にするあるいはクライアントの正直さを問うことによってクライアントに直面化する。そのような相互作用は不満や否定を伴った不公平な権力争いという性質をもつだろう。ここにはカウンセラーが質問やあるいは聞き返しを使うが、声の調子が明らかに直面化を示す例も含まれる。

すでに知られているまたはクライアントによって明かされた否定的な情報を言い換えることは直面化または聞き返しのどちらにでもなりうる。大部分の直面化は声の調子と文脈に慎重な注意を払えば正しくカテゴリー化できる。

- ・ ノックビン（抗酒薬）を飲んでいただけでも結局飲酒したんですね(MiNA)
- ・ あなたはそれが愛する人たちを扱う方法だと考えているのですか？ (MiNA)
- ・ ええ、あなたはアルコール依存です。自分ではそう思わないかもしれないけれど、そうなんです (MiNA)
- ・ ちょっと待って。あなたの HBA1c は 8.0 だとここに出てる。申しわけないけれど、こんなに高いなら、あなたが自分でおっしゃったようにカロリー計算していたとは思えないですね。(MiNA)

指図する

命令や指示、励まし、報酬などによってクライアントに指図すること。言葉は命令形になる。

- ・ それをしてはだめ！ (MiNA)
- ・ この宿題を来週持ってきてきなさい (MiNA)
- ・ あなたは 1 週間に 3 回はミーティングに行かねばなりません (MiNA)

注意：MiNA は発話が明らかにこのカテゴリーに当てはまる時のみにつける。疑わしい時は、その他のコード（たとえば情報提供）が与えられるべきである

評価のまとめ

項目	評価点数, 出現カウント
全体評価 共感 1~5	
行動評価	
MI 一致	許可を求める
	是認する
	コントロールを強調する
	サポート
MI 不一致	

評価：MI 一致のパーセンテージ=MI 一致÷(MI 一致+MI 不一致)

MI 初中級者レベル 全体評価(共感) 3 以上 MI 一致のパーセンテージ 90%以上
上級者レベル 全体評価(共感) 4 以上 MI 一致のパーセンテージ 100%

